

支援・進路部通信

NO. 5

令和8年3月24日

東京都立調布特別支援学校長

中村 由美子

支援・進路部 加藤 幸吉（文責）

卒業生の皆さん御卒業おめでとうございます。

24日の卒業式に続いて、25日は修了式です。御家庭・地域の皆様の御理解と御協力のもと、無事この日を迎えることができましたことに改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

新しいスタートの4月を前に楽しい春休みを過ごし、始業式、そして入学式には元気な笑顔で登校して来てください。

＜ 小4 お店でかいものしよう ＞

小学部4年生では、簡単な手伝いに自分から取り組んだり、自分でできることを生かして家で役割を担ったりすることを目指して、生活単元学習でお店や買い物について学習しました。

お店を巡って、店の種類や様々な支払いの方法を見学しました。また、本物そっくりな支払機の模型を使って、買い物の流れをロールプレイで行い、買い物の仕方を学習しました。単元の最後は、実際にスーパーへ行きました。役割意識をもって買い物ができるよう、調理学習で使う材料等を買うことにしました。買う物は事前に自分で選びました。スーパーでは、写真カードと商品を見比べながら品物を探し、それぞれが責任をもって楽しく買い物をしました。

＜ 小6 中学部体験・フォーマルデイ ＞

中学部体験では、中学部の教師による「中学部ってどんなところ？」という説明を聞いた後、中学部の見学に行きました。翌週、中学部の教師と共に、ペットボトル分別の作業学習体験をしました。いつもと違う教室と教師に、児童は緊張した様子でしたが、大きな声で「よろしくお願ひします」と挨拶をしたり、「できました」と報告をしたりすることができました。

2月より、週に1日「フォーマルデイ」を設け、卒業式や中学部進学に向けてボタン付きシャツやファスナー付きズボンなど、儀式の際に着用する衣服を実際に身に付けて登校しました。それぞれのペースでボタンの留め外しやファスナーの操作を練習し、一人で着替えに臨む姿が増えました。着替え後には、シャツがズボンの中に入っているか、襟は曲がっていないかなどのチェックを全員で行い、「身だしなみ」の意識を高めることができました。

＜ 中3 高等部進学・進路先 ＞

中学部3年生は、1年間を通じて「高等部への進学」を意識した学習を行ってきました。

7月の学校見学会では、実際に高等部へ行き、高等部の生徒が授業を受けている様子を保護者と一緒に見学しました。夏季休業中に行われた事前相談では、高等部の先生方と直接話をするこゝとで、高等部での生活を少しずつイメージできるようになってきた生徒もいました。

1月に入ってからは、「職業・家庭」の授業で、入学相談に向けた面接練習を始めました。各自「面接シート」を作成し、姿勢や身だしなみなどについて鏡を見るなどして意識を高め、それぞれが真剣に取り組むことができました。ふだん、あまり接しない教職員に面接官役を担ってもらいました。本番当日は、練習の成果を発揮できた生徒がたくさんいたようです。

2月の合格発表日には19名全員が合格を喜び、高等部進学に高い期待感をもっている様子が見られました。

【卒業生の進路先について】

令和7年度小学部卒業生は、本校を含む都立特別支援学校中学部又は地域の中学校の特別支援学級に進学します。中学部卒業生は、都立特別支援学校高等部普通科に進学します。